

第9期陸別町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（素案）に対する意見募集（パブリックコメント）の結果

案 の 名 称	第9期陸別町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（素案）
意 見 募 集 期 間	令和6年1月5日～令和6年1月26日
意 見 受 付 件 数	2名、14件

※いただいたご意見を、内容ごとに整理・分類したうえで、ご意見に対する町の考え方を示しています。

意見 番号	ご意見	ご意見に対する町の考え方	計画修正 の有無
1	<p>第1章 第2節 計画の位置づけ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域防災計画において、新型コロナウイルス感染症対策をセンターとしてどのように連携したのか伺いたい。</li> <li>町の施設（移住体験住宅等）に感染者を入居させていたが、どのような条件で入居ができていたのか。また、地域住民に感染者入居を周知していたのか伺いたい。</li> </ul>	<p>地域防災計画と第9期計画の関連については、各事業所で作成するBCP計画の基盤に陸別町地域防災計画があることを示しているのであり、新型コロナウイルス感染症対策を特化として連携することは捉えていませんが、今後の取組みにおいて連携が必要であると考えております。</p> <p>ご質問の内容については、今後のBCP計画の実施構築にあたり総務課との連携も視野に入れることを参考にさせていただきます。</p>	無し
2	<p>第4節 計画の策定体制</p> <p>1. 地域包括ケアシステム推進会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・素案の作成にあたり、会議を何回実施したのか。また、会議での検討・協議を行っているところがどのような意見が出されたのか、素案にその意見が反映されているのかを伺いたい。</li> <li>・会議の実施日を記入していただきたい。</li> </ul> <p>2. 陸別町保健・医療・福祉サービス検討委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・素案の作成に関わっていないので、削除して頂きたい。</li> <li>・計画作成委員会で作案を作成しているのであれば、表記してください。また、計画作成委員会とは、どのような組織なのか、何を検討し協議をしたのかを伺いたい。</li> </ul> <p>3. 町民による参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パブリックコメントが1月5日から実施し1月19日に修正等がおこなわれているが、ケアシステム推進委員会や計画作成委員会議の委員に事前に修正等の説明がおこなわれたのか。</li> <li>・パブリックコメント期間中に資料の追加や文言の修正は、あり得ないと考えているが、チェック体制がどうなっているのか説明を願いたい。</li> </ul>	<p>1. 素案の作成にあたり、地域包括ケアシステム推進会議を2回実施しました。（※3回目は諮問会議の前に実施予定）会議では、計画策定における作業スケジュールやアンケート調査の内容の確認、素案の構成や取組案、介護給付費見込案の考え方についてお示しし、意見を聴取しました。会議では素案通りで了承をいただきましたが、中でも、介護サービス事業所の体制維持に関する、権利擁護事業に関することについて対策が必要との意見があり計画に反映させたところです。会議の実施日としては、1回目を令和5年8月8日に、2回目を令和5年12月18日に実施しましたが、他町村の計画も参考に確認したところ、会議実施日の詳細について記載されている計画素案がなく、会議の実施日の記載が必要であるかについては次期計画への課題としたいと思います。</p> <p>2. 陸別町保健・医療・福祉サービス検討委員会については、第1回目の会議開催前に素案の配布を行い、加除加筆や修正等の意見があれば会議当日に発言していただけるよう依頼しております。そのため、素案作成に関わっていただいていると認識しており記載しました。計画作成委員会は幅広い関係者の参画の元に計画を検討するために設置された機関であり、平成12年3月10日条例第25号に規定された委員会です。条例では、「介護保険事業の円滑な運営に関すること」「地域における老人保健福祉事業に関すること」等について調査及び審議することになっており、その趣旨に沿った検討および協議をする運びとなっております。</p> <p>3. パブリックコメントの修正については、ホームページに掲載した他、第3回地域包括ケアシステム推進会議での説明、計画作成委員会へ書面での修正内容の説明を行ったところです。パブリックコメント期間中に素案を修正したことに対し町民の皆様を混乱させてしまったことに申し訳ないと思っておりますが、パブリックコメントの本来の目的である町民への説明責任を第一に考え、<b>内容が不十分な状態での素案を提示することではなく今回の修正等の公表を行った次第です。</b></p>	無し
3	<p>第2章 第3節 第8期計画における取組と今後の課題</p> <p>(1) 各関係機関との連携の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「陸別町一時住まい事業かっこうの家」が5床と聞いているが、どのような根拠で5床にしたのか。将来、5床で足りるのか、余すのかを伺いたい。</li> <li>また、入居の基準があれば教えて頂きたい。</li> </ul> <p>(2) 医療・介護の連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護施設等での新型コロナウイルス感染でクラスターが発生したときの町の関わりはどのように対応したのか伺いたい。2類の場合は保健所で対応するのは理解するところですが、2類から5類に変わり町はどのような対応をされたのかを伺いたい。</li> </ul>	<p>「かっこうの家」については、議会で審議され条例に記載された内容で事業を行っています。5床で足りるのか余すのかについては、事業が開始されたばかりなので今後評価していきます。入居の基準については、今後町の広報等で周知していくのでご確認ください。</p> <p>介護施設等でのクラスター発生についてですが、各施設が保健所の指導の元で対策を行うこととされています。町は各施設から要望や要請があった際に対応することとし、情報収集に努めます。</p>	無し

意見番号	ご意見	ご意見に対する町の考え方	計画修正の有無
4	<p>第4章 施策の展開 基本目標1</p> <p>2 地域包括ケアシステムを支える人材の確保および介護生産性の向上の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職員初任者研修を実施し19名の受講修了生が誕生したのは評価するところですが、介護事業所に新規就労した人がいない原因は何かを伺いたい。</li> </ul> <p>4 高齢者の日常生活を支える体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第9期では高齢者の独居世帯が増加する見込みであるが、「声かけ」「安否確認」など求める声が多い事は理解するが、個人情報・プライバシーの問題はどう対応するのかを伺いたい。</li> <li>・第8期の計画では①高齢者の住まいのあり方の協議で福祉担当が所管する「からまつハウス」「福寿荘」について提言をする計画ですが、どのような提言をされたのかを伺います。</li> </ul>	<p>介護職員初任者研修の受講生に対し、講義の合間に時間をもらい、町内の介護事業所の紹介や町で作成した介護人材求人情報を配布して就労に協力してほしいことを伝えてきましたが、町内の介護事業所に就労したかどうか追跡調査を行っていないので原因は把握していません。</p> <p>独居世帯の声かけや安否確認の体制についてですが、ご意見いただいたことも踏まえて検討していきたいと考えます。</p> <p>「からまつハウス」「福寿荘」については、保健福祉センター内で利用対象者を検討したり利用のあり方を協議してきました。必要な方が利用できる住まいであるよう協議していきます。</p>	無し
5	<p>第4章 施策の展開 基本目標2</p> <p>3 災害や感染症対策に関わる体制整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・③陸別町版地域連携型BCPの構築 総務課で作成している地域防災計画との関連性があると思われるが、地域防災計画の中で感染症の対応が書かれていると思われるが、資料を提供して頂きたい。</li> </ul>	<p>本計画で述べているBCP計画とは、「介護事業者のための業務継続計画」を指しており、新型コロナウイルス感染症発生時の業務継続ガイドラインおよび介護施設・事業所における自然災害発生時の業務継続ガイドラインがその内容となっています。各施設や事業所が作る基本方針から成り立つ計画であるため（※陸別町居宅介護事業所であれば所属する陸別町役場が作成した業務継続計画を元に作成）、地域防災計画との関連性については今後確認していきます。</p>	無し
6	<p>第4章 施策の展開 基本目標3</p> <p>2 介護予防と健康づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第8期では③生がいホーム通所事業が取り組みをしているが第9期では無くなるという事で良いか。その理由は何か。この事業は町の委託事業だが、受託事業者にいつ、誰が、どのような説明を行ったのか伺いたい。また、この事業に変わる新たな予防対策を考えていないのかを伺いたい。考えていないのであればそれはなぜか伺いたい。</li> <li>・④歯科訪問事業が新規に実施する背景は何かを伺いたい。</li> </ul>	<p>生がいホーム通所事業については理事者とも協議した結果、町内における介護予防事業の1つとして実施継続することになりました。そのため、P60「3 介護予防と健康づくり」の取り組みの中に記載とします。</p> <p>「歯科訪問事業」については、フレイル（虚弱）・サルコペニア（筋肉の喪失）の悪循環を断ち切るために「運動」「栄養・口腔」「社会参加」の3本柱を介護予防事業として展開しようと考えたことが背景にあり、当町の高齢者に知識や技術が少ないと思われるオーラルフレイルの概念を広く周知する必要があると考えたことにあります。当町の母子保健で効果を出している歯科事業を高齢者施策として実施することでより効果を生み出したと考えております。</p>	有り
7	<p>第4章 施策の展開 基本目標4</p> <p>1. 認知症施策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・⑤認知症カフェの充実を実施する事で間違いはないかを伺いたい。（令和5年度は11回位）</li> </ul>	<p>認知症カフェとして実施している「ほっとカフェ」の実施継続もあります。それだけでは認知症施策の充実とはいえない現状を感じています。認知症施策推進基本法が成立したことも視野にいれつつ、当町の高齢者に見合った施策展開が必要と考え、コロナ禍で充実を図ることができなかった認知症施策を立て直すことで計画しています。</p>	無し
8	<p>第6章 計画の推進 第1節</p> <p>3 高齢者の住まいと介護保険制度の連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かっこうの家は中間施設ではなく、一時住まいという位置づけでよろしいか。そうであれば、中間施設は町内には存在しないという事でよろしいか。「中間施設問題として関係者間で協議を続けてきた経緯があります」とあるが、どのような経緯があったのか伺いたい。</li> <li>・「介護保険制度の枠にこだわることなく高齢者の住まい・・・」とあるが、どのようなサービス等があるのか伺いたい。</li> </ul>	<p>本計画に必要な地域包括ケアシステムの構築には「住まい」の視点が欠かなく、「かっこうの家」は、本人やご家族がその状態に見合った次の生活の場を見つけることができるよう一時住まい事業として位置づけております。介護保険制度における中間施設とは老人保健施設等の施設のことを指しますが、当町が今まで使用してきた中間施設という言葉は、介護保険サービス等の既存制度の範囲では手が届かない部分や人にも対応できる独自の介護サービスを提供する住まいを指すことであり、関係者との共通認識を持って事業構築を始めてきた経過があります。経緯については議会においても説明し承認を得てまいりました。「かっこうの家」のサービス内容については、保健福祉センターにパンフレットを設置していますのでご確認ください。</p>	無し

意見番号	ご意見	ご意見に対する町の考え方	計画修正の有無																														
9	<p>第6章 計画の推進 第2節</p> <p>・不適切な介護サービスの削減に努めるとあるが、不適切なサービスとはどのようなサービスか伺いたい。</p>	<p>不適切なサービスとは、ケアマネジメントに基づかない介護サービス提供のことを指し、生活実態に見合わない介護給付が行われている状況のことをいいます。介護給付適正化事業を行う中で不適切なサービスとなる件数を指導し適正化に努めます。</p>	無し																														
10	<p>第6章 計画の推進 第3節</p> <p>1. 取り組み目標</p> <p>・令和元年度、令和5年度とも①要介護認定の状況②後期高齢者健診受診率が同じパーセントであるが分母と分子の数値を教えてください。</p> <table border="1" data-bbox="245 517 651 701"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>現状値 (令和5年度)</th> <th>目標値 (令和8年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 要介護認定等の状況 (第1号被保険者に占める要支援・要介護認定者の割合)</td> <td>16.8%</td> <td>15.0%</td> </tr> <tr> <td>② 後期高齢者健診受診率</td> <td>19.59%</td> <td>前年度より増加</td> </tr> <tr> <td>③ 自立支援型ケア会議の開催回数</td> <td>2回</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>④ ケアプラン点検数</td> <td>1回</td> <td>1回</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 計画の実施状況の点検・評価</p> <p>・各事業の実績・進捗状況を点検し、課題の整理や改善への取り組みをPDCAサイクルによって管理しているとあるが、どのようなものか資料として提示をしていただきたい。</p> <p>3. 陸別町地域包括ケアシステム推進会議</p> <p>素案は計画策定委員会も関わっているので、表記すべきである。</p>	指標名	現状値 (令和5年度)	目標値 (令和8年度)	① 要介護認定等の状況 (第1号被保険者に占める要支援・要介護認定者の割合)	16.8%	15.0%	② 後期高齢者健診受診率	19.59%	前年度より増加	③ 自立支援型ケア会議の開催回数	2回	4回	④ ケアプラン点検数	1回	1回	<p>1. 取り組み目標</p> <p>・記載数値に誤りが判明しましたので次のとおり修正するとともに表の下段に説明を追記します。</p> <table border="1" data-bbox="815 517 1220 701"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>現状値 (令和5年度)</th> <th>目標値 (令和8年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 要介護認定等の状況 (第1号被保険者に占める要支援・要介護認定者の割合)</td> <td>18.5%</td> <td>17.0%</td> </tr> <tr> <td>② 後期高齢者健診受診率</td> <td>20.0%</td> <td>前年度より増加</td> </tr> <tr> <td>③ 自立支援型ケア会議の開催回数</td> <td>2回</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>④ ケアプラン点検数</td> <td>1回</td> <td>1回</td> </tr> </tbody> </table> <p>※①要介護認定等の状況は、介護保険事業状況報告（10月分）より算出  ※②後期高齢者健診受診率は、国保データベース（KDB）システムより出典（令和4年度データ）</p> <p>①要介護認定等の状況は、介護保険事業状況報告（10月）値より算出（146人÷788人）  目標値（R8年度）は17.0%に修正します。なお、1.5%の減少見込は介護認定新規申請時に要支援1と見込まれる者で、その者が必要とする支援のあり方により要支援1ではなく事業対象者に振り分けることでR6年度からの毎年0.5%×3年間で1.5%減を目標とします。  ②後期高齢者健診受診率は、国保データベース（KDB）システムより出典。最新データがR4年度となっています。</p> <p>2. PDCAサイクルとは、計画（plan）⇒施策の実施（実行：Do）⇒結果の把握、分析・評価（点検・評価：Check）⇒施策内容の改善・見直し（改善：Action）を円滑に行うことをいいます。陸別町地域包括ケアシステム推進会議でこのPDCAサイクルに基づく計画の進行を確認していき、個別の事業についてはPDCAサイクルを繰り返すことで自己点検を行っていきます。</p> <p>3. 計画策定委員会には計画素案の審議に關わっていただきましたが、計画の推進については計画作成委員会は關わっていないため、記載しませんでした。</p>	指標名	現状値 (令和5年度)	目標値 (令和8年度)	① 要介護認定等の状況 (第1号被保険者に占める要支援・要介護認定者の割合)	18.5%	17.0%	② 後期高齢者健診受診率	20.0%	前年度より増加	③ 自立支援型ケア会議の開催回数	2回	4回	④ ケアプラン点検数	1回	1回	有り
指標名	現状値 (令和5年度)	目標値 (令和8年度)																															
① 要介護認定等の状況 (第1号被保険者に占める要支援・要介護認定者の割合)	16.8%	15.0%																															
② 後期高齢者健診受診率	19.59%	前年度より増加																															
③ 自立支援型ケア会議の開催回数	2回	4回																															
④ ケアプラン点検数	1回	1回																															
指標名	現状値 (令和5年度)	目標値 (令和8年度)																															
① 要介護認定等の状況 (第1号被保険者に占める要支援・要介護認定者の割合)	18.5%	17.0%																															
② 後期高齢者健診受診率	20.0%	前年度より増加																															
③ 自立支援型ケア会議の開催回数	2回	4回																															
④ ケアプラン点検数	1回	1回																															
11	<p>その他</p> <p>・計画策定までのスケジュールを事前に提示して頂きたい。（委員として）</p> <p>・19日の修正については「計画の大枠に関する変更はない」とあるが、計画に使用している数値などの信用性が無くなるのではないかと。反省すべきではないかと伺いたい。</p>	<p>今回の計画策定は過去の計画策定スケジュールを踏襲したのですが、パブリックコメントの考え方（陸別町では令和元年12月29日訓令第16号で制定）や計画策定における調査研究に不足があったと感じております。いただいたご意見は今後の参考にさせていただきます。</p>	無し																														
12	<p>P50～「施策の展開」において、取り組み内容と取り組み目標に関連性が低い、又は関連性を感じにくいものが多く、取り組み内容の項目ごとに作成されていない。加えて、取り組み目標が安易に達成できるもののみ設定されているように見受けられる。</p>	<p>ご指摘のとおりであり、次期計画策定時はより調査研究に努めます。</p>	無し																														
13	<p>正誤表「重層的支援体制の整備」がはずされたのはなぜですか。国の補助事業を受けるかはさておき、検討すべき項目ではないか。また、「計画の大枠に関する内容」ではないかとあるが、正誤の項目が多く、どういった経緯で変更となったのか、説明が必要ではないか。</p>	<p>9期計画実施期間中に重層的支援体制整備事業を実施する基盤がないことを理由に事業実施を見送りました。しかしこの部分については文章に記載のとおり「地域共生社会の実現と多世代を対象とした総合支援体制の構築」とし、<b>地域包括支援センターだけでは解決が困難な複合課題については他機関との連携を図る等</b>、「多世代を対象とすること」および「包括支援センターにおける総合相談事業の充実」を強化することで、重層的支援体制整備事業に近い体制を構築したい思いがあります。検討すべき項目との自覚はあり次期計画策定では少しでも事業を具体化できるよう調査研究を進めます。</p>	無し																														

意見 番号	ご意見	ご意見に対する町の考え方	計画修正 の有無
14	本計画策定に向けた経過（開催日及び主な審議内容）及び計画策定に携わったすべての委員名簿を巻末資料として添付してほしい。	この件については、第3回地域包括ケアシステム推進会議（令和6年2月2日実施）において協議した結果、地域包括ケアシステム推進会議における協議の経過を追記することにしました。個人名簿の掲載については、掲載する意味や委員への同意も含めて次期計画策定への課題としたいと思います。	有り